

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2018-41599 (P2018-41599A)

【公開日】平成 30 年 3 月 15 日 (2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-010

【出願番号】特願 2016-174079 (P2016-174079)

【国際特許分類】

F 2 1 K 9/237 (2016.01)

F 2 1 K 9/232 (2016.01)

F 2 1 K 9/00 (2016.01)

F 2 1 V 23/00 (2015.01)

F 2 1 V 29/503 (2015.01)

F 2 1 V 29/70 (2015.01)

H 0 1 L 33/00 (2010.01)

H 0 1 L 33/64 (2010.01)

H 0 1 L 33/62 (2010.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 K 9/237

F 2 1 K 9/232

F 2 1 K 9/00 1 0 0

F 2 1 V 23/00 1 1 3

F 2 1 V 29/503

F 2 1 V 29/70

F 2 1 V 23/00 1 1 5

H 0 1 L 33/00 L

H 0 1 L 33/64

H 0 1 L 33/62

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 27 日 (2019.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

センサと、

前記センサを支持する支持台と、

光源としての複数の L E D 素子と、

前記複数の L E D 素子を環状に実装する L E D 基板と、

前記センサから出力された信号に基づいて前記 L E D 素子の発光を制御する制御部と、

前記 L E D 素子から前記 L E D 基板を介して伝達される熱を放出するための放熱部と

を備え、

前記支持台は、前記 L E D 基板における前記複数の L E D 素子で囲まれた領域内に装着され、

前記ＬＥＤ基板は前記放熱部に接続している  
ＬＥＤ照明装置。

【請求項２】

前記支持台は、前記ＬＥＤ基板に設けられた貫通孔に係合することで、前記ＬＥＤ基板に装着される

請求項１に記載のＬＥＤ照明装置。

【請求項３】

前記センサは前記ＬＥＤ基板の厚み方向であって前記ＬＥＤ素子の実装されている面から離間した位置で支持されている

請求項２に記載のＬＥＤ照明装置。

【請求項４】

前記放熱部は環状のベース材を備え、

前記ＬＥＤ基板は、前記ＬＥＤ素子の裏側部分が前記ベース材に当接する

請求項１～３の何れか１項に記載のＬＥＤ照明装置。

【請求項５】

前記センサは照度センサであり、

前記支持台には人感センサも支持されている

請求項４に記載のＬＥＤ照明装置。

【請求項６】

筒状のケース本体と、

前記ケース本体の一端を塞ぐように設けられたベース材と、

１個又は複数個のＬＥＤ素子をＬＥＤ基板に実装してなり且つ前記ベース材に搭載されるＬＥＤモジュールと、

前記ＬＥＤ素子に電力を供給するための回路構成された回路部品を回路基板に実装してなり且つ前記ケース本体の内部に収容された電源回路ユニットと

を備え、

前記ベース材は、板状をすると共に中央に前記電源回路ユニットの通過を許容する貫通孔を有する

ＬＥＤ照明装置。

【請求項７】

前記ベース材の貫通孔は、前記ケース本体の中心軸の延伸する方向から見たときに、円形状における部位から径方向の外方へ凹入する２個の凹部を有する形状をし、

前記ケース本体の中心軸の延伸する方向から前記ベース材を見たときに、前記２個の凹部を結ぶ仮想線は前記円形状の中心から離れている

請求項６に記載のＬＥＤ照明装置。